

# HYOGO SPORT ASSOCIATION

公益財団法人兵庫県スポーツ協会  
中長期ビジョン2023-2027

令和5年3月



公益財団法人  
兵庫県スポーツ協会

公益財団法人兵庫スポーツ協会  
中長期ビジョン2023-2027

## AGENDA

第1章	はじめに	P03
第2章	ミッション	P05
第3章	ビジョン	P06
	▶ 01 競技スポーツの推進	P07
	▶ 02 生涯スポーツの推進	P13
	▶ 03 スポーツ施設の管理運営	P20
	▶ 04 学校給食・食育支援事業の推進	P25
	▶ 05 組織運営体制の整備・充実	P30
	中長期ビジョン検討委員会	P36
	中長期ビジョンワーキンググループ	P37

## 1 当協会の目的と役割

- (1) 当協会は、昭和5年6月に兵庫県体育協会として設立されました。平成24年には県知事から「公益財団法人」の認定を受け、令和4年4月には現在の「公益財団法人兵庫県スポーツ協会」に名称を改めました。
- (2) 当協会は、定款第3条に基づき、スポーツに関する事業を通して、県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もってスポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与することを目的としています。
- (3) 当協会は、定款第4条に基づき、兵庫県内において次の事業を行っています。
  - ① 県民スポーツ普及・振興事業、スポーツ指導者養成事業
  - ② 国民体育大会派遣事業、競技力向上推進事業
  - ③ スポーツ少年団育成事業、総合型地域スポーツクラブ支援事業
  - ④ 公の施設及び健康増進施設の管理運営事業
  - ⑤ 学校給食用物資の供給事業
  - ⑥ 食育支援事業
- (4) 当協会は、兵庫県におけるスポーツを総合的に統括する団体として、公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)に加盟しています。
- (5) 当協会には、兵庫県内の103団体（60競技団体、41市町体育・スポーツ協会、2学校体育団体）が加盟しています。

## 2 計画趣旨・位置づけ

- (1) 国においては、スポーツ基本法に基づき、スポーツ基本計画が策定され、「スポーツ参画人口」を拡大し、「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととしています。  
兵庫県においては、「兵庫県スポーツ推進計画」を策定し、県民一人一人が日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画できる環境を整えるべく、様々な施策に取り組まれています。
- (2) 当協会としても、本県のスポーツ振興に寄与すべく「兵庫県スポーツ推進計画」と整合した「事業実施計画」を毎年度当初に策定し、県及び加盟団体と連携し、スポーツ振興に関する施策・事業に取り組んでいるところです。
- (3) 特に、平成18年に本県で開催された第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」終了後から継承してきた、競技力の向上、競技環境の整備及び持続・定着できる競技スポーツの振興に向けて、総合的な対策と各種取組を実施してきたところです。
- (4) このような状況の中、「スポーツ団体ガバナンスコード」における中長期計画の策定義務を踏まえ、当協会の重要な業務分野である「競技スポーツの推進」「生涯スポーツの推進」「スポーツ施設の管理運営」「学校給食・食育支援事業の推進」「組織運営体制の整備・充実」に向けて、10年後の姿を見据えた前半5年間に取り組むべき施策・事業方針を明らかにした中長期ビジョンを策定します。また、この中長期ビジョンの理念に基づき、毎年の「事業実施計画」を策定します。

## 3 計画期間

- (1) 計画期間は、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とします。
- (2) 当ビジョンは、スポーツ概念の広がりや活動の多様化の中で、加盟団体や関係機関から課題や意見を伺いながら、柔軟に施策の見直しを行い、活動の更なる発展を目指します。

## MISSION

## 01

当協会は、「スポーツ」を総合的に推進する団体として、  
県民のスポーツ振興、競技力向上等の事業をより一層推進していきます。

## MISSION

## 02

当協会は、県民が健康で心豊かに過ごせるよう、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、さらには文化の高揚、福祉の増進のために、アスリートの栄養管理やメンタルヘルス、食を通じた児童・生徒の健全育成、スポーツ施設における地域の交流拠点の創出などの幅広い事業を積極的に展開していきます。

## MISSION

## 03

当協会は、県、加盟団体、（公財）日本スポーツ協会をはじめとして、医療機関、民間事業者等のスポーツに関わる様々な組織・団体と緊密に連携・協力しながら、「する・みる・ささえる」スポーツの参画を通して、より多くの県民がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支えあう「スポーツ文化」の成熟を目指します。

# Dream of Hyogo 夢を、感動を、未来へ！

私たちの夢は、兵庫県ゆかりのトップアスリートが、オリンピックなどの国際大会や全国大会で活躍し、県民に「夢を」、「感動を」与え、子どもたちがその姿にあこがれて次代のトップアスリートを目指すことです。また、大人たちもその感動を社会生活に生かし、スポーツに親しんだり、あるいはスポーツを支えたりすることで、地域社会が元気になり、その活力が「未来へ」と繋がっていくことも私たちの願いです。その未来の姿は、まさに「躍動しつづける兵庫」とも言えます。

私たちは、これまでも、国の「スポーツ基本計画」及び県の「スポーツ推進計画」に掲げられた目標に向け、加盟団体をはじめ関係団体と一体となって取り組んできました。

兵庫県においては、令和5年4月にスポーツ行政を教育委員会から知事部局に移管し、産業、観光、福祉などの分野と連携した総合的なスポーツ行政がスタートします。

私たちは、「Dream of Hyogo」の実現に向けて、これまで取り組んできたスポーツ振興に加え、スポーツの多様化にも対応し、アーバンスポーツ等の新たなスポーツの振興や、ICTを活用したトレーニングや観戦などのスポーツのDX化、スポーツツーリズムの推進、さらには障害者スポーツとの連携などにも関係機関と協力して取り組み、スポーツの持つ多面的な価値を最大限創出していきます。

一人でも多くの県民が自らスポーツに触れ、その魅力である“夢と感動”を感じ、豊かに暮らす“未来”の実現に向け、私たちは、さらに歩みを進めます。

# 01

## 競技スポーツの推進

Dream of Hyogo

夢を、感動を、未来へ!



## 10年後の姿

- ① オリンピックなどの国際大会や全国大会で幅広い年齢層の兵庫県選手が多く活躍している。
- ② 国民体育大会（国民スポーツ大会）において兵庫県選手団が天皇杯・皇后杯の上位入賞（8位以内）を維持している。

### 現状と課題

1. 選手の育成・強化
2. 指導者の育成
3. ジュニアの発掘・育成

### バリュー

1. 国民体育大会（国民スポーツ大会）への参加支援
2. 選手及び指導者の育成・競技力の向上
3. 新たなジュニア層の発掘・育成

01

オリンピックなどの国際大会や全国大会で幅広い年齢層の兵庫県選手が多く活躍している。

02

国民体育大会（国民スポーツ大会）において兵庫県選手団が天皇杯・皇后杯の上位入賞（8位以内）を維持している。

## 1 選手の育成・強化

- (ア) 選手や団体の国民体育大会参加意識の希薄化が見受けられます。
- (イ) 近年の本県の国民体育大会において、過去5カ年の成績では皇后杯は入賞しているが、天皇杯で10位から13位の間となっており、今一步上位進出に抜け出せてはいない状況が続いています。
- (ウ) 国民体育大会等で活躍する種別が少年男女・成年女子であり、種目は個人競技の傾向にあります。低迷する成年男子と団体競技の強化（支援）が必要です。
- (エ) 傷害を予防し、試合時にベストパフォーマンスを発揮するために、スポーツ医・科学の面からの支援が求められています。
- (オ) 女性アスリートの3主徴のみならず、ライフスタイルに応じた更なる支援が必要です。

## 2 指導者の育成

- (ア) 指導者の高齢化による指導者不足や技術の継承への懸念があり、特に女性指導者の積極的登用が課題となっています。

## 3 ジュニアの発掘・育成

- (ア) 全国大会や国際舞台で活躍できるジュニア期からの選手育成が求められています。
- (イ) ジュニア期からの有望選手の発掘は、一部の競技に留まっています。
- (ウ) 少子化やスポーツ離れによるジュニア選手の減少とともに、有力選手の県外流出が続いています。

## 1 国民体育大会（国民スポーツ大会）への参加支援

（公財）日本スポーツ協会、文部科学省及び開催地都道府県が共催する国民体育大会（国民スポーツ大会）に本県代表選手を選抜し、兵庫県選手団を派遣するとともに、次の施策に取り組みます。

- ① 特に団体競技に重点を置いた強化事業等の実施
- ② 国体（国スポ）選手所属団体への手厚い支援
- ③ 国体（国スポ）参加への意識の醸成・ムーブメントの推進
- ④ 国体（国スポ）の動画配信に係る仕組み（ICTを活用した観戦）の構築を支援

## 2 選手及び指導者の育成・競技力の向上

全国トップレベル、国際舞台で活躍する県内選手の育成及び指導者の育成、競技力の向上のために、競技団体等関係機関と連携・協力して、次の施策に取り組みます。

- ① 更なる指導者の確保・養成及び資質向上（特に女性の資格取得への支援、ハラスメント防止研修など）
- ② 練習施設等の環境充実への支援
- ③ 選手及び指導者の県内就職支援（アスリートキャリアフォーラム）の更なる充実による成年種目の強化
- ④ トップアスリート等の選手育成・強化事業の推進（スーパーアスリート事業）及び兵庫県代表選手としての自覚の形成
- ⑤ 選手及び指導者への外部専門家によるきめ細かな医・科学サポート支援
- ⑥ ドーピング防止等の効果的な教育啓発

### 3 新たなジュニア層の発掘・育成

各地域で実施する競技体験会を通して、スポーツ能力に優れた素質を持つ県内の子どもたちの発掘や、各個人に合ったスポーツへ橋渡しを行い、競技人口の拡大を図り、将来、国民体育大会（国民スポーツ大会）をはじめ、オリンピックなどの国際舞台で活躍できるアスリートの育成をサポートします。

- ① トップアスリート等の活用促進
- ② ひょうごアスリート応援団の充実
- ③ ひょうご五国スポーツキャラバンの実施
- ④ フィフスプログラムの実施
- ⑤ 少年女子に向けた医・科学サポート支援

# 02

## 生涯スポーツの推進



Dream of Hyogo 夢を、感動を、未来へ!

## 10年後の姿

- ① 年齢・性別、体力や技能の程度、障害の有無等にかかわらず、多くの県民が各々の興味・関心、適性に応じてスポーツ活動を楽しんでいる。
- ② 県内の「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口が拡大している。

### 現状と課題

1. 成人のスポーツの習慣化
2. 地域のスポーツ環境の充実

### バリュー

1. ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進
2. 地域のスポーツ環境の充実
3. スポーツ功績者表彰

01

年齢・性別、体力や技能の程度、障害の有無等にかかわらず、多くの県民が各々の興味・関心、適性に応じてスポーツ活動を楽しんでいる。

02

県内の「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口が拡大している。

### 1 成人のスポーツの習慣化

- (ア) 成人の週1回以上のスポーツ実施率は、60%前半で高止まっています（平成24年:58.4%、平成27年:64.1%、令和1年:62.7%）。 ※数値：第2期兵庫県スポーツ推進計画より
- (イ) 特に、女性はライフイベント等によりスポーツを継続することが難しく、スポーツ実施率が男性に比べて低い状況です。
- (ウ) 年代別では、働く世代・子育て世代の20～50代でスポーツの実施率が落ち込む傾向があります。
- (エ) 生活習慣病になる一因として、食に対する意識の低下と運動不足があげられており、中高年の健康保持・増進が大きな課題となっています。

### 2 地域のスポーツ環境の充実

- (ア) 子どもの運動遊びやスポーツに親しむ機会を確保するとともに、安心安全な運動・スポーツを地域住民に提供できるように、地域スポーツの担い手として重要な役割を果たしているスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等地域のスポーツ環境の整備を進めることが課題となっています。
- (イ) 学校運動部活動の地域移行を進めるために、その受け皿の一つとなるスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等との連携・協力が期待されています。

## 1 ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進

県民のスポーツへの関心を高め、スポーツへの参加を促すため、各競技団体及び市町体育・スポーツ協会が実施するスポーツ教室・スポーツ大会に対して支援するとともに、民間企業とも連携してスポーツに関するイベント等を積極的に行います。

- (ア) 主に協会の管理施設において、ファミリーで参加できるスポーツプログラムを増やす等の取組を行います。
- (イ) 誰もが、いつでもどこでも気軽にスポーツに参加・観戦できるように、ICTの活用、DX化に取り組みます。
- (ウ) 一人でも多くの県民にスポーツに親しむ機会を提供するため、アーバンスポーツ、バーチャルスポーツ、ニュースポーツなどの体験イベントを行います。
- (エ) 当協会の学校給食・食育支援センターにおけるノウハウを最大限に生かすとともに、外部専門家等を活用して食・栄養に関する講演会等を開催し、健康の保持増進に対する意識を高めます。

## 2 地域のスポーツ環境の充実

生涯スポーツ社会における活動拠点となるスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど、地域スポーツ推進団体の活動基盤強化を図り、地域のスポーツ環境を充実するため、次のとおり支援事業に取り組みます。

### (ア) スポーツ少年団の育成支援

交流交歓事業等を通じて、団活動の活性化及び団員の更なる資質向上を図るとともに、ジュニア・リーダースクールの開催などにより、中核となって活動するリーダーを育成し、また、スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会等により、指導者を養成します。

- ① 競技別交流・交歓大会
- ② 指導者等育成事業
- ③ 表彰事業

### (イ) 総合型地域スポーツクラブへの支援

日本スポーツ協会(JSPO)、近畿各府県体育・スポーツ協会及び県内市町体育・スポーツ協会と連携・協力し、経営人材、指導者などの地域スポーツを支える人材の育成に取り組むなど、総合型地域スポーツクラブを支援します。

- ① 総合型地域スポーツクラブ人材育成事業
- ② 総合型地域スポーツクラブ登録支援事業
- ③ 総合型地域スポーツクラブ兵庫県協議会事業
- ④ アシスタントマネージャー等の養成支援事業

(ウ) 中学校運動部活動の地域移行への支援

運動部活動地域移行の受け皿としての役割を果たせるよう、総合型地域スポーツクラブの質的充実に取り組みます。

- ① 運動部活動地域移行理解促進支援事業
- ② 市町教育委員会や学校等への情報提供窓口の設置

### 3 スポーツ功績者表彰

本県のスポーツの振興に著しく功績のあった市町体育・スポーツ協会や、競技団体の役員、顕著な業績を挙げた指導者や、国際競技大会などで活躍した選手に対し表彰を行い、県民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの振興を図ります。

# 03

## スポーツ施設の 管理運営



Dream of Hyogo 夢を、感動を、未来へ!

## 10年後の姿

- ① 施設の安全を確保するとともに、魅力ある事業を展開し収益性が向上することにより利益還元型の運営を行っている。
- ② 多種多様な講座やイベントを実施し、地域の交流拠点として多くの人が日常的にスポーツに親しんでいる。

### 現状と課題

1. 安全・安心な管理運営
2. 魅力ある施設づくり
3. 持続可能な運営体制

### バリュー

1. 安全・安心な管理運営
2. 魅力ある施設づくり
3. 持続可能な運営体制

01

施設の安全を確保するとともに、魅力ある事業を展開し収益性が向上することにより利益還元型の運営を行っている。

02

多種多様な講座やイベントを実施し、地域の交流拠点として多くの人々が日常的にスポーツに親しんでいる。

令和5年現在、海洋体育館、円山川公苑、武道館、弓道場及び文化体育館(神戸常盤アリーナ)の5施設について県から指定を受けて管理運営しています。

また、直営施設として天王ダムスポーツガーデンを管理運営しています。

### 1 安全・安心な管理運営

---

経年劣化の進行等による計画的な修繕が必要な施設があります。

### 2 魅力ある施設づくり

---

新型コロナウイルス感染症の影響により、減少した利用者数の回復を図る必要があります。

### 3 持続可能な運営体制

---

収支不均衡が生じている施設があります。

## 1 安心安全な管理運営

施設・設備の保守管理に関して、高度な専門性を有する民間企業とグループを組むことにより、日常点検・定期点検を通じて施設・設備の状態を把握し、施設の所有者である県と連携を図り、適時適切な修繕や長寿命化工事などの予防保全を推進し、安全・安心な施設管理に努めます。

## 2 魅力ある施設づくり

利用者のニーズを捉えつつ、これまで実施してきた様々な事業に加え、魅力あるスポーツ教室やイベントの充実・拡大を図ります。

各競技団体はもとより、プロスポーツ団体や民間事業者と連携し、地域におけるスポーツの拠点として親しまれる場となるよう、様々な年齢層が参加しやすいプログラムやスポーツ栄養等の健康保持増進に関するプログラム等を提供します。また、予約システムを活用し、利用者の利便性の向上に努めます。

## 3 持続可能な運営体制

収支均衡、職員のモチベーション、社会的価値など総合的な観点から、持続可能な施設運営に取り組みます。

# 04

## 学校給食・食育支援事業の推進

Dream of Hyogo 夢を、感動を、未来へ!



## 10年後の姿

- ① 安全で良質な学校給食用物資を継続して安定的に供給している。
- ② 学校給食を通じた多様な食育支援活動を実施している。
- ③ 「食とスポーツ」に係る事業を展開している。

### 現状と課題

1. 学校給食物資の供給
2. 地産地消の取組を含めた食育支援活動
3. 人材の育成

### バリュー

1. 安全で良質な学校給食用物資の供給
2. 地産地消を含めた食育支援活動の促進
3. 人材の育成

01

安全で良質な学校給食用物資を継続して安定的に供給している。

02

学校給食を通じた多様な食育支援活動を実施している。

03

「食とスポーツ」に係る事業を展開している。

### 1 学校給食物資の供給

- (ア) 令和7年度には県内のほぼすべての小中学校において給食開始が予定されており、将来にわたって食材の安定供給を継続する必要があります。
- (イ) 市町の公会計化の進展に伴い価格競争が増加し、また、市町等が地元業者からの購入を促進することで、当協会の供給量が減少する可能性があります。
- (ウ) 製パン・炊飯委託工場数は、担い手不足等の理由により減少傾向にあり、パン・米飯を安定供給できる体制を構築する必要があります。
- (エ) 購入先や製パン・炊飯委託工場の衛生管理について、引き続き周知徹底が必要です。

### 2 地産地消の取組を含めた食育支援活動

- (ア) 学校等のニーズに応えた新たな事業の実施など食育支援事業の充実が求められています。
- (イ) 価格や品質など市町・学校等のニーズに合った県内産食材を供給する必要があります。
- (ウ) 「食とスポーツ」の視点を含めた取組を進める必要があります。

### 3 人材の育成

- (ア) 経験豊富な職員の定年等を踏まえ、早急な若手職員のスキルアップが必要です。
- (イ) 食品衛生や食育に関する専門知識を有した人材の確保など組織体制の充実が必要です。

## 1 安全で良質な学校給食用物資の供給

市町・学校等に求められる安全で良質な学校給食用物資を安定的に供給するため、次の施策に取り組みます。

- ① 市町・学校等のニーズを踏まえた取扱物資の検討
- ② 製パン・炊飯委託工場の作業環境改善への支援
- ③ 食品検査の充実及び情報提供
- ④ 製パン・炊飯委託工場の衛生管理等に関する研修会の開催
- ⑤ 必要に応じた購入先及び製パン・炊飯委託工場の現地調査の実施

## 2 地産地消を含めた食育支援活動の促進

学校給食を活用した「食育」の支援や「食とスポーツ」に関する情報発信を通じ、県民の健康保持増進のため、次の施策に取り組みます。

- ① 小中学校等で実施する体験学習会の充実
- ② 県・市町等と連携・協力した、県内産食材の活用促進
- ③ 県内産食材を活用した学校給食メニューや加工品の開発、情報発信
- ④ スポーツ施設と連携した食育学習会の開催や情報発信

## 3 人材の育成

(ア) 研修会の参加やOJTなどを通じて、人材育成を図ります。

(イ) 県・市町等と連携し、専門知識を有した人材の確保に取り組みます。また、民間の活用についても検討します。

# 05

## 組織運営体制の 整備・充実

Dream of Hyogo 夢を、感動を、未来へ!

## 10年後の姿

- ① 全ての加盟団体において、スポーツ・インテグリティ（誠実・健全・高潔）の向上に向けて、コンプライアンスが徹底され、スポーツ団体ガバナンスコードが遵守された適切な組織運営が行われている。
- ② 当協会の独自財源を安定的に確保し、県内のアスリート及び加盟団体等に対して、充実した支援を行っている。

### 現状と課題

1. 加盟団体のガバナンスの強化
2. 経営基盤の強化・充実

### バリュー

1. 組織体制・ガバナンスの強化
2. 経営基盤の強化・充実

01

全ての加盟団体において、スポーツ・インテグリティ（誠実・健全・高潔）の向上に向けて、コンプライアンスが徹底され、スポーツ団体ガバナンスコードが遵守された適切な組織運営が行われている。

02

当協会の独自財源を安定的に確保し、県内のアスリート及び加盟団体等に対して、充実した支援を行っている。

## 1 加盟団体のガバナンスの強化

---

スポーツ界に対する注目がますます高まる中、あらゆる暴力・不適切指導等の不祥事の発生を防ぎ、スポーツの価値を一層高めていくため、スポーツの普及・振興の重要な担い手となっている加盟団体における適正なガバナンスの確保が求められています。

## 2 経営基盤の強化・充実

---

当協会の競技・地域スポーツ振興事業をより一層充実するためには、組織力の向上など経営基盤の強化・充実を図る必要があります。

## 1 組織体制・ガバナンスの強化

### (ア) ガバナンスコードの遵守に向けた支援

加盟団体におけるガバナンスコードの遵守状況の自己説明及び公表の実施について、指導・助言及び情報提供を通じて支援します。

### (イ) 加盟団体のコンプライアンスに関する情報提供・支援

加盟団体を対象に行う研修会や講演会において、ガバナンスに関するテーマを設定するなど、コンプライアンスに関する情報提供に取り組み、コンプライアンスの徹底を支援します。

### (ウ) 加盟団体等の法人化等への取組に対する支援

スポーツ協会事務局内に相談窓口を設置し、法人化等に向けた取組を支援します。

## 2 経営基盤の強化・充実

当協会が取り組む各種事業をより発展・継続していくためには、優秀な人材や、安定した財源を確保するとともに、適宜事業を見直してスクラップアンドビルドを行い、イノベーションを進めていきます。また、管理運営する施設等においては、創意工夫を凝らした様々な取組を積極的に実践し、利用者への利益還元型の運営を行います。

### (ア) 人材育成と組織力の向上

- ① デジタル化の推進とともに、スピーディーな意思決定により、効率的・効果的に事業を実施します。
- ② 職員の採用を計画的に行い、環境の変化に対応できる質の高い人材を戦略的に育成することにより、組織力の向上を図ります。

### (イ) 自己資本比率の向上（正味資本比率）

- ① 施設それぞれの特性を活かし、変化する利用者のニーズを的確に捉えて魅力ある事業を展開し、財務基盤の安定を確保することにより、指定管理施設及び直営スポーツ施設の競争力を強化します。
- ② 賛助会員、パートナー企業・団体制度の新規導入を検討します。

## ■ 中長期ビジョン検討委員会

(令和5年3月31日 現在)

役職	氏名	所属・職	備考
委員長	井土垣 功	専務理事	役員
委員	廣瀬 雅樹	専務理事	〃
委員	八瀬 英夫	事務局長兼総務部長	事務局
委員	寺岡 正人	スポーツ振興部長兼 地域スポーツ振興課長	〃
委員	新谷 香織	部長補佐兼総務課長	〃
委員	財田 幸浩	競技スポーツ振興課長	〃
委員	岡本 裕之	管理運営課長	〃
委員	藤原 康晃	県立武道館 総務課長	指定管理施設より
委員	田中 健太郎	兵庫県学校給食・食育支援 センター 係長	ワーキンググループより
委員	繁田 ひかる	管理運営課 主任	〃

## ■ 中長期ビジョンワーキンググループ

(令和5年3月31日 現在)

役職	氏名	所属・職	備考
メインビジョン クリエイター	田中 健太郎	兵庫県学校給食・食育支援 センター 係長	
ビジョンクリエイター	繁田 ひかる	管理運営課 主任	
〃	島津 大地	地域スポーツ振興課 地域スポーツクラブ推進員	
〃	横田 周典	競技スポーツ振興課 指導主事	
〃	西岡 政英	兵庫県なぎなた連盟	加盟団体
〃	打越 雅美	(一社) 兵庫県水泳連盟	加盟団体
〃	井上 洋佑	(一財) 兵庫陸上競技協会	加盟団体
〃	阿部 ゆめな	兵庫県高等学校体育連盟事務局職員	加盟団体
オブザーバー	新谷 香織	部長補佐兼総務課長	
〃	岡本 裕之	管理運営課長	